

# ご造営ニュース

總社神社

そうしゃじんじゃ

鎮座地..平戸市田平町山内免一六四番地

御祭神..天之御中主神 ほか十七柱

電 話..〇九五〇一五七一三〇六六



平戸市田平町山内免（永田区）に鎮座する「總社神社」は、後堀河天皇（一一二一～三二）の頃に造営したものと推定され、祭神は天之御中主神ほか十七柱です。

神殿は、松浦家第十世・峯五郎源披・訓親子によつて行われた里田原開拓（一九〇～一二〇年代）のため伐採された樟を用い、京都御所の紫宸殿を模した造りとなつており、その広さは四・五一メートルの正方形です。創建以来屋根の葺き替え等を行つたほかは改築されたことはなく、約八〇年前の鎌倉時代の建物であると考えられ、きわめて由緒の深い神社です。

しかしながら、長年にわたり風雨にさらされ、特に神殿の老朽化が進み、やむなく神殿改築・拝殿改修工事を行つことと相成りました。

建設委員会を中心に計画し、創建当時の樟の柱を残すこととし、氏子に五年の分割負担金と地域有志の特別ご寄進を賜り、平成三十一年三月起工、令和元年九月竣工祭を無事執り行いました。

郷土愛の強い皆様に支えられ一大事業を成し遂げられたことに感謝いたします。

総事業費..三千万円